

みずほCustomer Desk Report 2018/07/23 号(As of 2018/07/20)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.61
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	112.37	1.1655	130.96	1.3020	0.7363
SYD-NY High	112.62	1.1739	131.21	1.3140	0.7431
SYD-NY Low	111.38	1.1628	130.56	1.2995	0.7318
NY 5:00 PM	111.48	1.1724	130.67	1.3131	0.7418
NY DOW	25,058.12	▲ 6.38	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,820.20	▲ 5.10	日本10年債	0.0300	▲ 1.00bp
S&P	2,801.83	▲ 2.66	米国2年債	2.5932	0.45bp
日経平均	22,697.88	▲ 66.80	米国5年債	2.7637	3.09bp
TOPIX	1,744.98	▲ 4.61	米国10年債	2.8941	5.70bp
シカゴ日経先物	22,545.00	▲ 180.00	独10年債	0.3695	4.15bp
ロンドンFT	7,678.79	▲ 5.18	英10年債	1.2305	4.60bp
DAX	12,561.42	▲ 124.87	豪10年債	2.6175	▲ 4.60bp
ハンセン指数	28,224.48	213.62	USDJPY 1M Vol	7.60	0.57%
上海総合	2,829.27	56.73	USDJPY 3M Vol	7.69	0.19%
NY金	1,231.10	7.10	USDJPY 6M Vol	7.92	0.17%
WTI	68.26	0.02	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	192.62	1.21	EURJPY 3M Vol	7.90	0.03%
ドルインデックス	94.45	▲ 0.70	EURJPY 6M Vol	8.35	0.04%

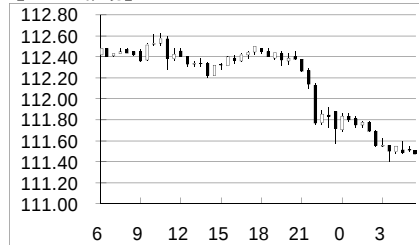
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月20日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	6月 0.7%/0.8%/0.2%	0.8%/0.8%/0.4%
	21:20	米 ブラード・セントルイス連銀総裁「逆イールドのリスクを回避するため、利上げを控える必要」		

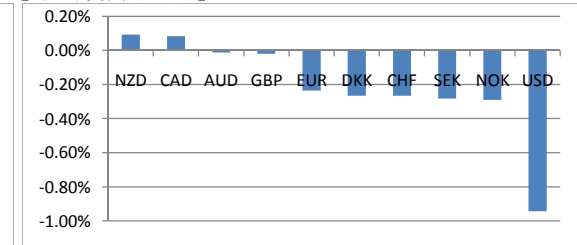
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月23日	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.45m	5.43m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.80	1.1680-1.1780	130.00-131.20

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円は、中国人民銀行が発表した中国元の中心レートが約1年ぶりの元安水準に設定されたことや、トランプ大統領が前日に続きFRBの利上げを批判したことを要因として、安値111.38とオープン水準(112.37)から約1円下落している。本日のドル円は引続き上値の重い展開を予想。ドル円の下落要因となったトランプ氏の発言の影響は大きく、ドルインデックスが低下するなど、足元はドル売りの地合いが強まっている状況。加えて、通商問題への警戒感が燃える中で週末に米企業の好決算が確認される状況にあっても、海外株式市場は上値の重い状況が続いた。市場心理の改善の糸口が見えない中でドル円は引続き上値の重い推移を続けるものと考えている。

アジア	東京時間を112.37レベルでスタートしたドル円は高値112.62まで上昇する場面が見られたものの、前日海外時間のトランプ大統領によるドル高・人民元安牽制発言が意識される中、人民元の中心レートが前日比およそ0.9%の元安方向に設定されると、アジア人民元は対ドルで約1年ぶりの水準まで人民元安が進行。アジア株も軟調な推移を見せる中、ドル円も112円台前半まで下落する展開に。その後は人民元や上海総合指数、日経平均株価が持ち直したことからドル円も下げ渋り、結局112.40レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は112.40レベルでオープン。アジア時間の流れを受け円買い地合いモードの中、トランプ米大統領の「中国からの輸入5000億ドルに關税の用意」との発言を受け米中貿易摩擦激化の懸念が強まったことや、日銀の長期金利誘導目標の柔軟化検討の一部報道を受け112.26まで下落した。安値を探りながら112.27レベルでニューヨークへ渡った。ロンドンドルは1.3017レベルでオープン。6月英公的部門財政赤字が53.9億ポンドと予想以上に悪化したことや、今週発表された6月英CPIや小売売上高が軟調な結果となり8月2日の英中銀の利上げに疑問が出てきたことなどを背景に1.2998まで下落した。その後は調整で値を戻し1.3047レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は112.27レベルでNYオープン。本日は米主要経済指標の発表が予定されていない中、日銀は金利目標を変更することを検討しているとの記事が出たとの話や、トランプ大統領が「中国やEUは自国通貨を操作している」と話したことから再び売りが強まり、ドル円は111.75まで下落する。その後も日銀の話が蒸し返されたことから、111.57まで続落。一旦111.86まで戻す局面もあったものの、午後に入りホワイトハウス関係者の話として、「トランプ大統領は、年内あと2回の利上げを懸念している」と伝わったことから、更にドル売りが優勢となり、111.40まで下落する。終盤に掛けては、週末を控え、狭いレンジでの推移が続き、安値111.38まで下落し、111.48レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1663レベルでNYオープン。朝方は、トランプ大統領の発言を受けたドル売りに、ユーロドルは1.1723まで上昇する。その後暫くは1.1710付近での推移が続くが、午後に入りホワイトハウス関係者の話も伝わり、1.1739まで上昇する。終盤に掛けては方向感の無い推移が続き、1.1724レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・田家